

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(1/11)

■目次 ～シンガポール～

1. 基本調査

①基礎情報

②デジタルに関する組織及び施策等の概要

2. 重点調査分野(11テーマ)

11重点分野リサーチ状況

サービスデザイン/UIUX	○ デジタルデバインド	★ 共同利用・共同調達	○
データ利活用	★ 官民共創	- デジタル予算	★
行政サービスのデジタル化	★ 新技術 (AI、メタバース)	○ スマートシティ	★
サイバーセキュリティ	- 人材育成・確保	-	

★・・・都が特にベンチマークすべき事例あり、○・・・情報あり、－・・・情報なし

1-①基礎情報

国名	シンガポール
面積 (km)	720
人口 (万人)	569
首都	-
主要言語	マレー語 (公用語：英語、中国語、マレー語、タミール語)
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
GDP (10億米ドル)	424 ※IMF 22年10月時点
ランキング (電子政府)	12位（国連2022年）、4位（早稲田2022年）

元首	ハリマ・ヤコブ大統領
議会	一院制
政府	リー・シェンロン首相(人民行動党)
政体	立憲共和制
主要産業	製造業、商業、ビジネスサービス、運輸・通信業、 金融サービス業
通貨	シンガポール・ドル
国民文化	-
参考	シンガポール基礎データ(外務省)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(2/11)

1 - ②デジタルに関する組織及び施策等の概要

	名称	概要	拠点	ソース・サイト
施策	Smart Nation 構想	ICT を活用することにより、国民の生活をさらに豊かにし、より多くのビジネス機会を創出し、より強固な地域コミュニティを構築することを目的とした、国全体をスマートシティ化する国家ビジョン。	-	・ 詳細記事
施策	Infocomm Media 2025	Smart Nation を実現するための、シンガポールの ICT の活用の方向性を示した、情報化基本計画。	-	・ 詳細記事
施策	Digital Government Blueprint	政府がデジタル技術を活用して公共サービスを提供するための計画や戦略。	-	・ 公式ホームページ
施策	Digital Economy Framework for Action	デジタル経済を推進するために策定した計画や戦略。	-	・ 詳細記事
施策	Digital Readiness Blueprint	国民のデジタルリテラシー向上、デジタルスキルの育成、中小企業のデジタル化支援などの強化を促進するために策定された計画や戦略。	-	・ 公式ホームページ

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(3/11)

1 - ②デジタルに関する組織及び施策等の概要

	名称	概要	拠点	ソース・サイト
法律・制度	個人情報保護法（PDPA）	Smart Nation構想のもと、省庁が持つ公開可能な統計、GPSなどからのデータやAPIを公開し、データを活用した新たなビジネスの展開を促しており、このデータを保護するための法律。	-	・ 公式ホームページ
法律・制度	データ保護認証（DPTM）	個人情報の保護体制が整う企業を認証する制度。	-	・ 公式ホームページ
法律・制度	電子取引法（ETA）	電子署名の法的有効性を認める法律。同法には、省庁がそれぞれの法律を改正することなしに、電子申請や電子書類を受理できるよう、乗り合い条項も盛り込まれている。	-	・ 公式ホームページ
法律・制度	Payment Services Act	シンガポールのペイメントサービスの規制の枠組みと消費者保護の強化をし、デジタル決済の使用に対する信頼を促進する法律。	-	・ 詳細記事

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(4/11)

2.重点調査分野(11テーマ) –サービスデザイン / UI・UX

Plan & Strategy

事例

概要

シンガポール政府は、政府機関が開発するウェブサイトやアプリケーションのデザインの標準化を目的とし、Singapore Government Design System(SGDS)を開発。

参考

- [SGDS公式ホームページ](#)

取組
概要

※着手中含む

SDGSの提供サービスは以下のとおり。

- **コンポーネント**：Webサイトを迅速に構築するために再利用またはカスタマイズ可能なオープンソースのフロントエンドコンポーネント。
- **テンプレート**：Webサイト構築テンプレート。
- **テーマカスタマイザー**：ニーズに応じてコンポーネントやカラーのカスタマイズが可能。
- **パターン**：アクセシビリティ基準に準拠した、一般的なユースケース利用可能なパターン。
- **デザインツール用のファイルの提供**：デザイナーがーからセットアップの必要がなく作業を開始できる。

参考

- [SGDS公式ホームページ](#)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(5/11)

2.重点調査分野(11テーマ) –データ利活用

Plan & Strategy

事例

概要

シンガポール政府は、様々な公的機関から公開されているデータセットを無料で公開するオープンデータポータルData.gov.sgを運営。

公開されているデータは、政府予算、交通、健康、教育など様々な分野のデータが含まれている。

参考

- [Data.gov.sg\(シンガポールオープンデータポータル\)について\(Government Technology Agency\)](#)

取組概要

※着手中含む

- **第1回データ・ビジュアライゼーション・ビデオ・チャレンジ**：オープンデータがどういった違いをもたらすかをテーマに、大学、技術教育機関など80以上が参加したプロジェクト。水の消費量と水源に関するデータ、再犯率等、無数のオープンガバメントデータセットを使用してオープンデータの重要性を示す。

参考

- [Data.gov.sg\(シンガポールオープンデータポータル\)について\(Government Technology Agency\)](#)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(6/11)

2.重点調査分野(11テーマ) –行政サービスのデジタル化

Plan & Strategy

事例

概要

シンガポールは、デジタル技術を活用して**行政手続きを簡素化し、市民の利便性を向上させる取組**を行っている。

参考

- 行政サービスについて(Smart Nation Singapore)

取組概要

※着手中含む

- **National Digital Identity(Singpass)** : 2003年に開始され、ユーザーが様々な政府サービスにオンラインでアクセスできるようにする個人認証システム。
- **LifeSG(アプリケーションサービス)** : 40以上の政府サービスにアクセス、利用が可能。情報は、トピックに従ってグルーピングが可能。個人情報管理サービスMyinfoでダッシュボードの作成も可能。
- **CrowdTaskSG(ウェブポータル)** : クラウドソーシングを通じて、アンケート、世論調査などの情報を収集が可能。
- **OpenCerts(プラットフォーム)** : 学校側が学生に対して改ざん防止の為の学術証明書を発行し、認証する方法を提供する。

参考

- [National Digital Identity-Singpass \(Smart Nation Singapore\)](#)
- [LifeSG\(Smart Nation Singapore\)](#)
- [CrowdTaskSG\(Smart Nation Singapore\)](#)
- [OpenCerts\(Smart Nation Singapore\)](#)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(7/11)

2.重点調査分野(11テーマ) –デジタルデバインド

■ 概要

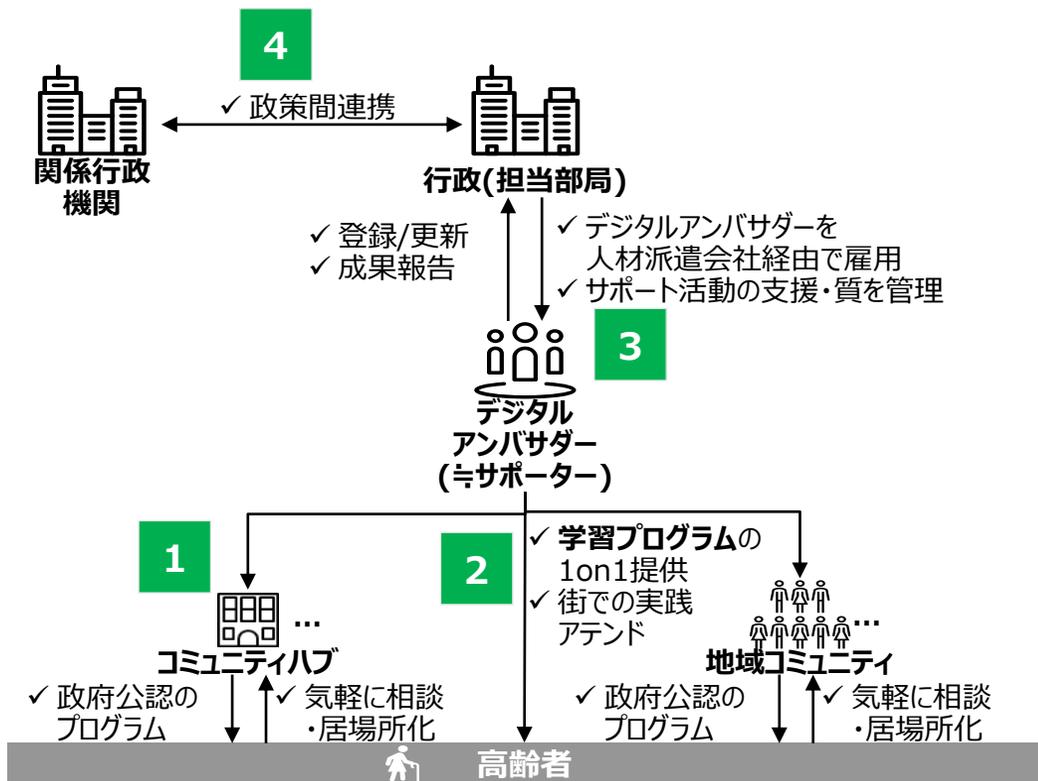
目的：シンガポールの高齢者の個人スマートフォンの利用率・インターネット利用率が多世代に比べ低い現状を改善し、高齢者にデジタル技術を利用したサービスの恩恵を得てもらうため。

成果：15万人の高齢者がデジタルスキルを獲得。

所管部：シンガポール政府 情報通信メディア開発庁(IMDA) SG Digital Office

シンガポールでの支援スキーム

支援におけるポイント



- 1 高齢者が必要だと思ったら**すぐ相談/実践可能な場所である地域のコミュニティセンターや行政施設で継続的に支援** (全国60箇所に拠点を設置)
- 2 **高齢者の生活・ニーズに沿った学習プログラムの設計・実施**が行われており、行政サービスの使い方だけでなく、ビデオ電話やQR決済、エンタメなど日常生活で使う内容を提供
- 3 予算をしっかり設け、**サポート活動の管理・質向上を徹底し継続して安全・高品質な学習環境を提供**
- 4 デジタルデバインドの方へのアプローチや、行政サービスのさらなるデジタル化を**組織間で連携・協力しながら実施**

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(8/11)

2.重点調査分野(11テーマ) –新技術(AI・メタバース等)

Plan & Strategy

事例

概要

公共部門全体で、AI機能を構築するために、Smart Nation and Digital Government Group(SNDGG)とGoogleがパートナーシップを締結。

要点

シンガポールでのAI分野の強化について、以下の取組をNational AI Office 主導により行う。

- 応用研究開発
- コンピテンシーと能力開発
- AIのガバナンスと倫理

参考

- [シンガポール政府とGoogle Cloudの提携について\(Computer Weekly\)](#)
- [SNDGGとGoogleの提携について\(Smart Nation Singapore\)](#)

取組概要

※着手中含む

取組詳細は以下のとおり。

- **応用研究開発**
Google CloudとAlphabetの子会社は、SNDGGのNational AI Office とその他の政府機関と連携し、金融、ヘルスケア、サステナビリティなどの主要部門でAIソリューションを共同作成を行う。
- **コンピテンシーと能力開発**
Google Cloudは、特定の公共部もの職員向けにAIと機械学習の習熟度養成のため、トレーニングプログラムを提供。
- **AIのガバナンスと倫理**
Google Cloudは、金融などの主要部門でAIのガバナンスと倫理を形成するシンガポール政府の取組を諮問委員会への関与などサポートを行う。

参考

- [シンガポール政府とGoogle Cloudの提携について\(Computer Weekly\)](#)
- [SNDGGとGoogleの提携について\(Smart Nation Singapore\)](#)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(9/11)

2.重点調査分野(11テーマ) ー人材育成・確保

Plan & Strategy

事例

概要

シンガポールでは、各産業の人材ニーズに対応するため、職業技術教育（VTE）システムを構築している。

さまざまな産業における人材ニーズに対応するため、シンガポールでは職業技術教育（VTE）システムを確立。

参考

- [The Human Resource Development Policy of Singapore\(Lu Yang\)](#)

取組
概要

※着手中含む

• -

参考

• -

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(10/11)

2.重点調査分野(11テーマ) –共同利用・共同調達

Plan & Strategy

事例

概要

シンガポール政府は、透明性及び公正な競争を確保し、公開競争を通じて最高の公共価値を引き出すため、公開入札を行うことを既定としており、政府機関の調達システムであるGeBIZを通じて調達を行う。

参考

- ・ [調達プロセスについて\(Ministry of Finance\)](#)

取組
概要

※着手中含む

GeBIZ(シンガポールの調達システム)：政府機関が必要とする部品やサービスを提供する事業者との取引を簡素化することを目的としたシステム。

GeBIZの主なサービスは以下のとおり。

- ・ 入札情報の検索：政府が公開している案件情報を検索が可能
- ・ 入札に関する契約手続き：システム上で契約に関する資料のやり取りが可能
- ・ オンラインプラットフォーム：政府機関と事業者間でのコミュニケーションもシステム上で可能

参考

- ・ [GeBIZ公式ホームページ](#)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～シンガポール(11/11)

2.重点調査分野(11テーマ) –デジタル予算

デジタル 関連予算額	■ 2022年度（2022年4月～2023年3月）のICT関連歳出見込み 約 4952億1600万円 （50億4611万ドル /1ドル = 98.15円換算）
注力 ポイント	■ 主な予算用途 ①人工知能（AI）、センサー、データサイエンスを使用したアプリケーションシステム：約 2607億1400万円 （26億5563万ドル） 新しいアプリケーション開発の構築と既存アプリケーションのアップグレードを目的として、ICT予算のほぼ70%を投じる。 例えば、教育機関ではすべての学校にスマート施設管理システムを導入し、エネルギーと水の効率を改善したり、設備管理プロセスを自動化することで労働生産性の向上、及び、メンテナンス改善するためのデータ収集等を行う。 ②政府コミュニケーションクラウドのアプリケーションシステム：約 1303億300万円 （13億2767万ドル） 2023年には政府システムの70%をクラウド化することを目標にしており、現時点で約55%がクラウドへ移行されている。クラウドに移行したことで、システム平均30～40%のコスト削減が実現していることから、2022年度はこれをさらに進めるため、システムデプロイを推進する。 ③企業とのコラボレーション 企業と共同で実施するプロジェクト割合は、2020年度11%、2021年20%となっており、2022年度27%に増加すると予測されており、ICTを利用した入札を推進するため、技術評価等を行うためのプラットフォームをアップデートしていく。
総予算に占める デジタル関連 予算割合	■ 2022年度（2022年4月～2023年3月）の国家歳出予算 約10兆515億円（1,024億1,000万ドル） ■ ICTの占める割合： 約5%
参考	・ 政府の22年度ICT支出に関する記事(GOVTECH SINGAPORE)